

豊作祈り 新和中生“大騒ぎ”

天草市 伝統の「虫追い祭り」

天草市新和町の小宮地区で4月27日、豊作を祈願する伝統の「虫追い祭り」があり、法被姿の新和中の生徒や住民約40人が、太鼓を響かせながら山里をにぎやかに練り歩いた。

370年以上の歴史があり、田植えを済ませた農家が大騒ぎして、害虫を海に追い払ったのが起源とされる。神事後、一行は五穀豊穰を表す五色ののぼりを先頭に、地区の公民館など10カ所を約4時間かけて巡った。

新和中の約20人は伝統の太鼓踊りを披露。横笛や太鼓、かけ声に合わせて、左右に大きく飛び跳ねた。地区の高齢者らは手に持ったササを揺らし、笑顔で踊りを眺めていた。

同中3年の平道圭樹さんは「先輩たちが続けてきた祭り。伝統をつないでいきたい」と話した。

(石井颯悟)



伝統の太鼓踊りを披露する新和中の生徒(中央)＝4月27日、天草市